千葉開府 Road to 900 since 1126

千葉開府900年まであと900日！

カウントダウンイベントを開催

日　程	12月14日㈭
会　場	市役所1階

12月14日㈭は、千葉開府900年となる、2026年（令和8年）の6月1日「千葉開府の日」まであと「900日」です。市役所1階で、900日前を記念したイベントを開催します。

10:00～17:00
千葉氏VRゲーム「月星の記憶」体験会

VRゴーグルを装着し、仮想空間（VR）内で千葉のまちの礎を築いた千葉一族の中興の祖「千葉常胤（つねたね）」とともに、歴史を体験しながら敵に立ち向かうアクションゲームを楽しめます。

VRゲームのイメージ
（実際のゲーム内容とは異なります）

キャラクターデザイン
九尾の狐（敵役）

千葉常胤

17:15～18:00
千葉開府900年900日前カウントダウンセレモニー

子どもたちが数字の制作や装飾を施した「カウントダウンボード」の除幕や、消防音楽隊による、ジングルベル、鎌倉殿の13人の主題歌（メインテーマ）などの演奏を楽しめるクリスマスコンサートを行います。

＊カウントダウンボードは市役所1階に2026年（令和8年）6月1日まで設置します。

消防音楽隊

千葉開府800年・850年写真パネル、大鎧展示を開催

日　程　12月14日㈭～20日㈬

今から約100年前の千葉開府800年、約50年前の千葉開府850年当時の写真パネルや鎌倉時代の武士の鎧を模した大鎧（おおよろい）を展示します。

千葉開府900年とは

平安時代後期、1126年（大治元年）の6月1日に、桓武天皇のひ孫高望王（たかもちおう）の子孫、常重（つねしげ）が中央区亥鼻付近を本拠地とし、初めて「千葉」と名乗りました。これをもって千葉のまちとしての歴史が始まったとされており、2026年（令和8年）に、900年を迎えます。

問都市アイデンティティ推進課 ☎245-5660　FAX245-5534

千葉開府 900年への道
一、開府900年に向けて

千葉市は1921年（大正10年）の市制施行により誕生しましたが、都市としての礎は、平安時代末期の1126年（大治元年）から始まったといわれています。

本市では6月1日を「千葉開府の日」と位置づけ、50年ごとに記念事業を行っています。千葉開府記念事業は、市制施行間もない1926年（大正15年）の開府800年、戦後の経済成長と人口増加の只中の1976年（昭和51年）の開府850年と、その時々の時代背景を踏まえつつ、市民がまちの歴史を振り返り未来について考える契機として重要な役割を果たしてきました。

写真は、千葉開府800年の千葉の駅前に建つアーチです。千葉市史によれば、千葉駅、本千葉駅、京成千葉駅には大アーチが立てられ、市内各所に装飾が施されたほか、講演や青年大会、小学校・中学校・師範学校の旗行列、県下庭球大会が開かれたそうです。記念事業は、歴史にちなんだものだけでなく当時の技術を紹介する各種展覧会も開かれました。

この時の記念事業は大正10年の市制施行祝典と並ぶもので、大正～昭和（戦前）期における千葉市の二大祝典であり、当時の不景気に沈滞する千葉市民に千葉市の歴史を回顧させ、市民に活気をつけるのに役立ったといわれています。

3年後の千葉開府900年に向け、歴史を振り返り、人とまちがともに輝く未来へとつなげていきます。

千葉市つくたべBOXを販売

市内で採れた旬の野菜や加工品など、千葉市の「おいしい」が詰まった千葉市つくたべBOXを販売します。

今回は、千葉市食のブランド「千」とのコラボBOX。「千」認定品もお届けします！ぜひ、冬の味覚をお楽しみください。

また、BOX内の食材を使い、ABCクッキングスタジオが開発したレシピでオンライン料理教室をLIVE配信します（購入者以外も視聴可）。

＊一部の食材は、購入者が準備する必要があります。

千葉市つくたべBOXイメージ

申込期間　12月1日㈮～12日㈫
発 送 日　12月16日㈯から順次発送（収穫状況により変更となる可能性あり）
数　　量　先着100セット
料　　金　4,000円

販売方法などはつくたべLINEアカウント（**【右記】**コードから）でお知らせします。

ABCクッキングスタジオ　オンラインレッスン
日　　時　12月21日㈭20:00から
視聴方法　ABCクッキングスタジオ公式Instagram（@abccookingofficial）から

詳しくは、千葉市　つくたべBOX

問農政課 ☎245-5758 FAX245-5884

テレビ広報番組 チバテレ「ザ・サンデー千葉市」。今月の放送は、3日㈰9:00～9:15「市民の台所！千葉市地方卸売市場♪」